

令和6年度 第2回地域学校協働本部運営委員会 議事録

開催日時：令和7年2月12日(水) 10時～11時45分

開催場所：我孫子市教育委員会 大会議室

出席者：寺内委員、小谷委員、山下委員、戸塚委員、石川委員、小池委員、齊藤委員、藤田委員、森谷委員、事務局4名

傍聴者：なし

1 指導課長挨拶

本日はご多用の中、ご出席いただきありがとうございます。

学校運営協議会と地域学校協働活動との一体的推進を進めるなかで、学校により進捗状況にばらつきが出ている状況ではあります。ただすべての学校で着実に一步ずつ歩みを進めていっています。コミュニティ・スクールと小中一貫教育の一体的推進にも目を向け、その様子は「広報あびこ1月号」にも掲載させていただきました。本日は今年度の活動を振り返るとともに来年度に繋げる会にしていきたいと思えます。よろしくお願ひします。

2 令和6年度活動報告・令和7年度活動方針と重点について

コミュニティ・スクールが全小中学校でスタートして3年が終わろうとしています。推進員の活動は学校にばらつきはあるものの着実に増加してきています。特に推進員が複数配置されている学校については回数が増加しています。一人で推進員の重責を担っている学校に複数配置を促したり、学校運営協議会委員に社協やまち協の関係者を加えることで地域との協働、ネットワークの構築をさらに進められるよう支援していきます。

ボランティア参加人数については、登下校の安全指導が減ったため全体の参加人数は伸びていません。また環境整備等が減少傾向にあるのはボランティアの高年齢化が影響していることが考えられます。学校行事への支援が少なくなったのはコロナ後学校行事が精選、縮小されたからだと考えます。ただ支援の内容、質ともに向上しています。総合学習や教科の授業では多くの方々に支援していただき、子どもたちの豊かな学びや体験に繋がっています。長期休業や放課後の学習会等を実施する学校が増え、学習支援や見守りボランティア数も増加しました。授業以外の読み聞かせや図書ボランティアは昨年度より減少しましたが相変わらず多くの方々にご協力いただき、部活動やクラブ活動補助が増えました。ボランティアの延べ人数に一喜一憂するのではなく、活動自体の質の高さやボランティアによる教育活動支援のネットワーク化が進みつつあることは大きな成果といえます。

学生ボランティアについては市内外他大学や高校の学生、生徒が増加しており中学生が小学生の学習支援を行う中学校区もあります。教育活動推進員に登録するなど、長期的定期的に携わる学生が増えた一面、学生数、特に教職を志す学生が大きく減ったため参加人数は大幅に減っています。

学校と社協やまち協などの地域の社会教育団体とのネットワークが広がり、子供たちの豊かな学びや体験活動に繋がった学校が増えました。市民協働推進課と連携し「自治会便利帳」への新規掲載、「市民と市民活動のマッチング！」(イベント)での紹介を依頼するなど学校と地域の教育資源を繋ぐ努力をしています。放課後子ども教室とも夏の合同研修会でコーディネーターと学校が協議する場を持ち連携を図りました。

地域で子供たちのための無料学習塾、学校を会場とした放課後や長期休業中の学習支援に地域人材が中心となって取り組む学校が増えるなど地域の子供たちを地域で育てようという意識が高まりました。推進員のコーディネートによる職業人講話など、地域と連携した質の高いキャリア教育を実践する学校も増えました。教育ミニ集会で学校と地域が熟議を行ったりしながら学校と地域の距離が縮まりつつあります。子どもたちと地域が顔を合わせて熟議し、地域課題を把握して子ども達自身で考えた地域貢献活動を実施した学校もあります。

地域学校協働活動を取り入れた小中一貫カリキュラムの開発については「広報あびこ1月16日号」に掲載された通り青写真はできましたが、まだまだ課題や修正点が多いので実践しながら見直していく必要があります。

学校運営協議会についても熟議を行う学校が増えた一方、まだまだ以前の学校評議員のころと変わらない運営協議会も散見されます。コミュニティ・スクール4年目を前に自校の学校運営協議会の到達度の評価と委員全員の振り返りを実施、分析して来年度に生かしていきたいと考えます。

今年度も先行事例を学ぶような研修を何度か実施、その結果日常の授業や教育活動に参画、参観を行う推進員、学校運営協議会委員ができました。このような姿が当たり前になっていくために「地域とともにある学校」が高いレベルで実現していくような手立てを講じていきたいです。

3 協議

司 会 令和6年度活動報告、令和7年度活動方針(案)と重点についてまとめて協議したいと思います。委員の皆様からご意見、ご質問等ございましたらお願いします。

山下委員 布佐子ども学習室ではここまで7年間近隣センターや自治会館などで毎週学習教室を行っています。それ以外でも布佐地区社協と共催し「夏休み星空ウォッチング」「おもしろ理科実験教室」を実施しました。学校外での活動については報告を控えていましたが、今後は地域学校協働活動として報告してよろしいでしょうか。

事務局 ぜひお願いします。

寺内委員 各学校での活動が活発なのは大変素晴らしいことだと思います。学校によって温度差があるのはこの事業が学校のお手伝いをする事業だと考えていることに

よるのでしょうか。私たちの学区ではバスケットボールの選手が住んでいます。この方と学校をつなげていくような企画を考えていきたいと思っています。

- 石川委員 以前よりネットワークは広がっていった活動が広がっていると思います。教頭会では推進員が退任すると次の方を探すのに苦労すること、管理職が転任する際引継ぎが大変といったことをよく聞きます。
- 司 会 地域の力を学校の子も達のために活かして行ってほしいです。また学校運営協議会を充実させることにより今まであった様々な問題に対応できるかと思えます。
- 齊藤委員 地域交流教室を活動の場として役立ててほしいです。資料の28ページにあるチェックリストの内容は学校の現状を把握するための良い手段だと思います。
- 司 会 学校運営協議会委員にチェックリストを用い活動の振り返りをしていくことで次年度の活動に活かしていただきたいと思います。
- 藤田委員 昨年度は2校の推進員からボランティアの相談を受けました。1件はなかなか見つからずまだ募集をかけています。募集について問い合わせがあったため学校に聞いてみると教頭先生が代わったタイミングで依頼がなくなったとのことでなかなかうまくマッチングができませんでした。
- 小池委員 市民ボランティアであったり、まち協に関しては市民協働推進課で情報を持っていますので是非協力をしていきたいと思っています。先ほど出たプロバスケットボール選手についても繋がりがありますのでご相談ください。地域が主体となって地域の課題を考えつつ地域の子もたちを支えていくことが大切なことと思えます。
- 戸塚委員 布佐中区ではコミュニティ・スクールが既に出来上がっていて先生方も地域と一体となって進んでいく考え方が浸透しています。ただ我孫子市内の学校がすべてこのような環境ではないです。白山中では推進員さんは力があるのでお願いすればすぐに動いてくれます。職業人講話や職場体験などは先生方だけでは手が回らないところを引き受けてもらっています。こういった良さを知った先生方はどんどん活用しようと考えます。ただ先生方に余裕がないのでなかなか相談ができない状況です。
- 事務局 毎年5月に開催されている担当者、地域学校協働活動推進員研修会で話合った内容が一般の職員まで浸透しないことが問題だと思えます。コミュニティールームやそれに準じた場所があって気軽に推進員に相談できる環境、場所があるといいと思えます。
- 小谷委員 私は学校支援地域事業本部の時代から関わりをもってきました。事業が始まったばかりのころで当時の校長先生、コーディネーターが協力して学校支援ボランティアを積極的に進めてきました。地域のみなさんも大勢ボランティア登録

をしてくださいました。校長先生が退職したタイミングでボランティアの募集がだんだんと減っていき、地域の方も登録はしているものの依頼がない状態のままになっていました。今では学校でボランティアを募集してもなかなか集まらない状態です。当時のその時の盛り上がりが続いて居たらと思います。また保護者の参加が少なくなってきた気がします。授業参観には来るようですがボランティア活動には参加しない。ここ数年保護者の考えが変わったような気がします。保護者が学校で普段の子ども達の様子を見ていない気がします。

事務局 そういった思いを学校運営協議会で話し合っていくのがいいです。このことを学校の課題として取り上げみんなで考えていく必要があります。

寺内委員 6年ぐらい前から小谷委員と同じ感覚があります。いくらこちらから訴えても伝わらない。時代の流れなのか面倒なことにはかかわりたくないという考えが増えている気がします。

山下委員 子どもの学校生活に無関心な親が増えているようです。

事務局 一方的なボランティアではなく参加して楽しめるようなボランティア、みんなを巻き込んでいくような企画を考えていくなどして改善を図りたいですね。

司 会 以上をもちまして会議は終了となります。アンケートのご協力をお願いします。来年度の第1回目の運営委員会は4月18日（金）10時からとなります。新委員での顔合わせとなりますのでよろしくお願いします。以上を持ちまして令和6年度第2回我孫子市地域学校協働本部運営委員会を終わります。